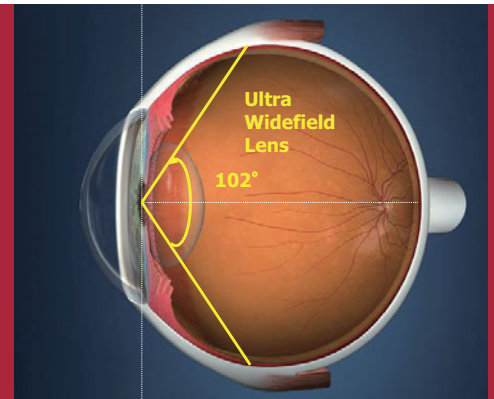
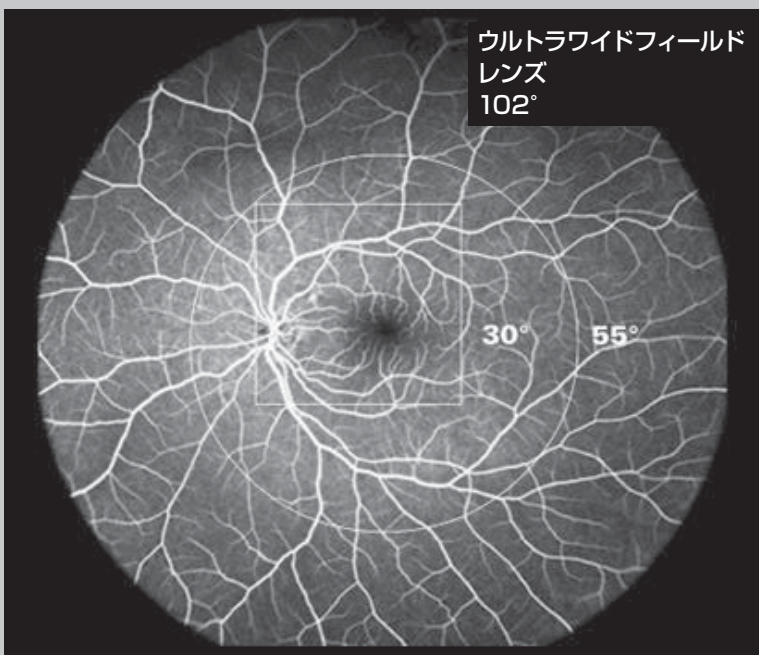


“非接触” ウルトラ ワイドフィールドレンズ



非接触ウルトラワイドフィールドレンズは、最大 102° という超広画角を実現し、眼底周辺部においても収差のない高コントラストな眼底画像を得ることができます。既存のスペクトラリスと HRA2 に容易に取り付けることができ、簡単なレンズ交換のみで広範囲な眼底観察が可能になります。これにより、スペクトラリスに画角 30°、55° と 102° のラインナップが揃いました。



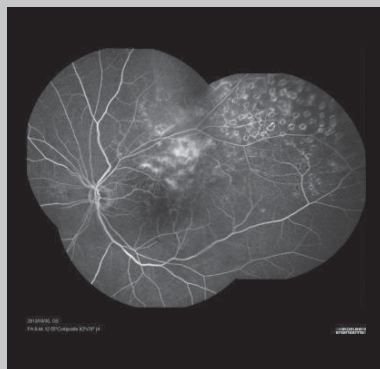
『従来の眼底造影診断では、一般的な疾患でも眼底周辺部にある場合には数多くの見落としがありました。スペクトラリスの非接触ウルトラワイドフィールドレンズがその問題を解決します。スペクトラリスユーザーの必須アイテムになるでしょう!』

(Giovanni Staurenghi 先生談)

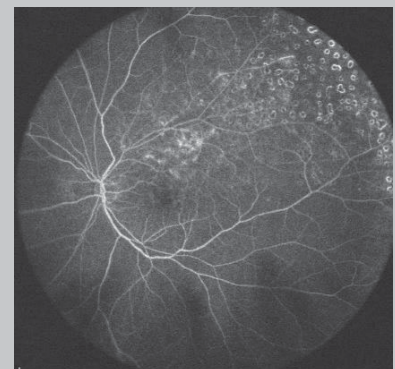


画像の合成が不要

従来広範囲な眼底観察を行う場合には、角度を変えて撮影した複数枚画像を重ね合わせる合成(コンポジット)作業が必要でしたが、ウルトラワイドフィールドレンズを使用することにより、その作業が不要となり、検査、解析時間の短縮が図れます。

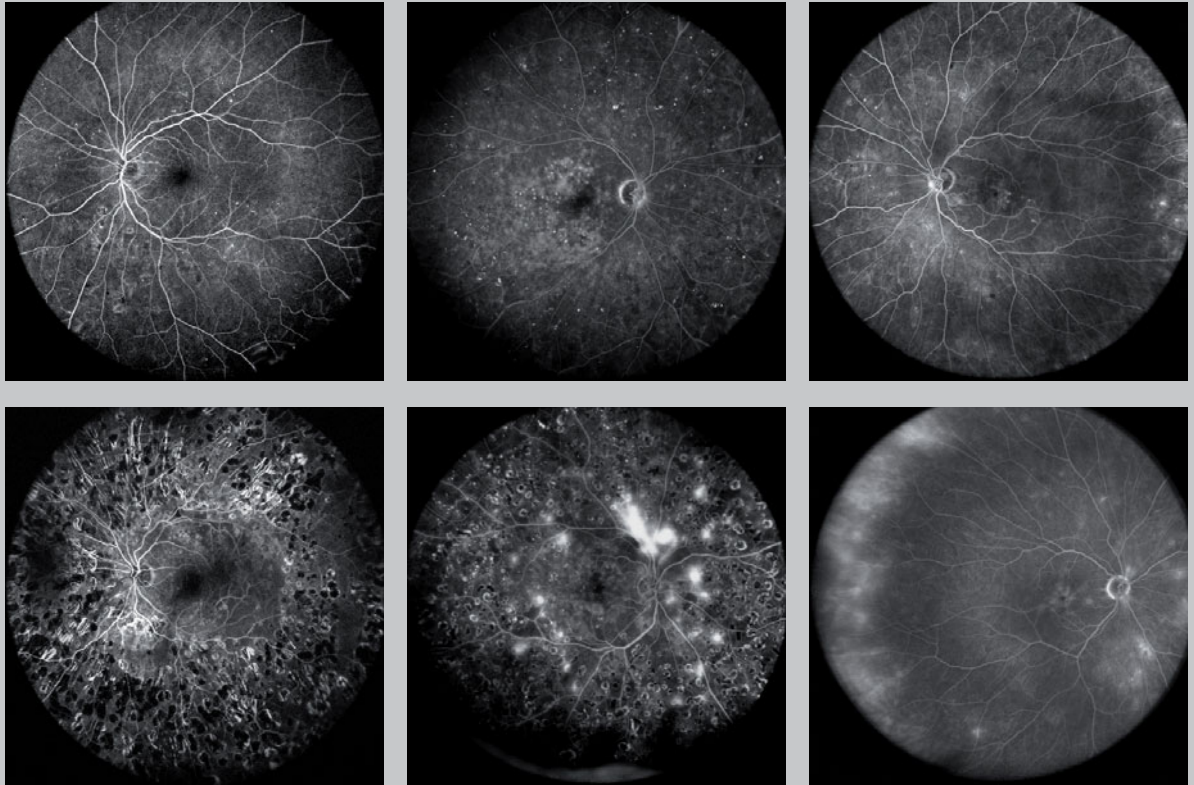


55° ワイドフィールドレンズで撮影された3つの合成画像



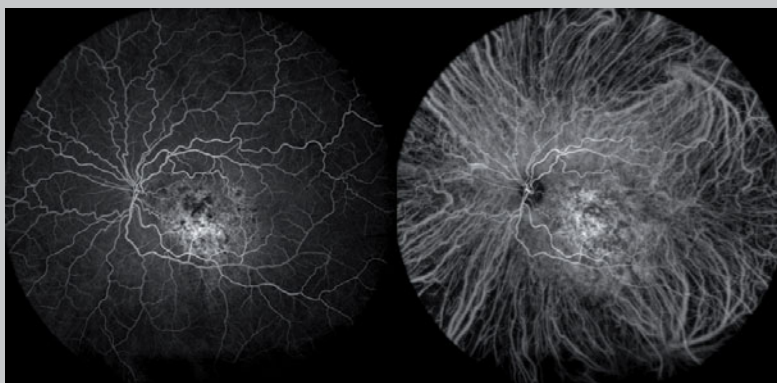
102° ウルトラワイドフィールドレンズで撮影された画像。より広範囲な眼底が一度に撮影可能。

糖尿病における周辺部眼底造影画像



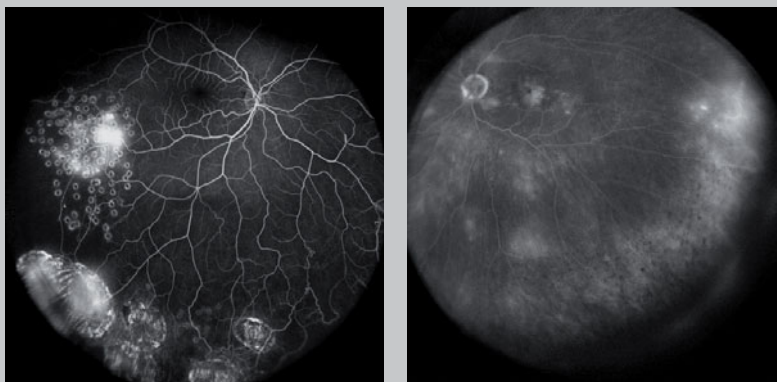
糖尿病網膜症の患者の非接触超広角フルオレセイン蛍光血管造影画像が、毛細血管瘤、新生血管、血管周囲の漏出および周辺部非血流域など、病変の広がりを示しています。

同時動画眼底造影



脈絡膜血管腫のフルオレセインと ICG 蛍光血管造影画像の同時高速動画撮影

より周辺部の画像診断



スペクトラリスのカメラヘッドをパンニングし、観察画像をさらに周辺部まで広げることができます。

フルオレセイン蛍光血管造影画像
左：血管炎
右：糖尿病網膜症

臨床画像提供：
Ryusaburo Mori, MD, Nihon Univ., Japan
Antonia Jousen, MD, Berlin, Germany
Frank G. Holz, MD, Bonn, Germany
Sebastian Wolf, MD, Bern, Switzerland

*仕様及び外観は、改良の為予告なしに変更する場合があります。

医療機器認証番号 220AIBZX00005000

製造販売元



ジャパン フォーカス株式会社

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-18 (IROHA-JFCビル) ☎03 (3815) 2611
大阪/〒541-0053 大阪市中央区本町4-6-7 (本町スクエアビル) ☎06 (6262) 1099
URL: <http://www.japanfocus.co.jp/>

製造元 Heidelberg Engineering GmbH, Heidelberg, Germany

株式会社 JFCセールスプラン

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷4-3-4 (明治安田生命本郷ビル) ☎03 (5684) 8531 (代)
大阪 ☎06 (6271) 3341 名古屋 ☎052 (261) 1931 福岡 ☎092 (414) 7360
URL: <http://www.jfcsp.co.jp/>

Printed in Japan 201307 Rev.